

【取組内容②】 外部指導員による校外での体験学習をオンラインで配信することで在校生と共有する

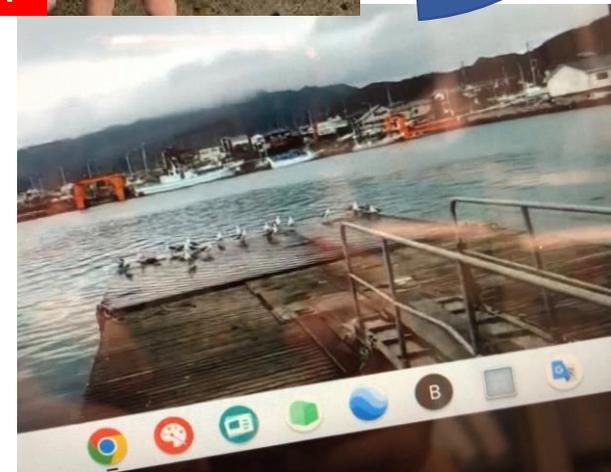
第5学年社会科「水産業」の学習と第4学年の動機付け

本区では第5学年に千葉県鋸南町で宿泊学習を行います。本校では2日目の早朝に地元の保田漁港にて、NPO法人による「漁業体験授業」を実施しています。前もって学校で漁業について学んだ上で、現地で魚の選別作業や入札等の体験を行うものです。その際、一学年下の第4学年のClsroomを利用し現地からMeetで動画配信を行います。次年度に宿泊学習を行う児童への意欲付けにもなりますし、相互通信の利点を生かし、質問や感想等も受けながら、現地の第5学年と学校にいる第4学年と一緒に外部人材による体験学習をしているような状況をつくっています。



現地から配信

学校から質問



【取組内容④】 職員会議資料のペーパレス化、校内研究の協議会でPadletを活用

校内研究 第2学年 生活科「つくってあそぼう」協議会

本校の職員会議では、校長指導連絡を含め、各回のフォルダを作成し、前日までに各担当者が資料を格納し、会議は端末を利用して行います。

また、毎月行われる校内研究会では、前もって協議会の視点を数点に絞り、デジタルホワイトボードソフトに各視点の見出しを作成し掲示しておきます。研究授業を参観したら、参加者は各視点の見出しの下に「良かった点」「改善すべき点」「質問」に色別した付箋を貼っていきます。その際、授業中に撮影した写真等を根拠として添付することもできます。

全体協議の場では、視点別、色別で整理された内容を論点にすることができるので、会議も効率化され、視点がぶれることも少なくなります。

デジタルホワイトボードソフトの画面

